

## 令和元年度 事業報告

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

公益財団法人 S G H 財団

本年度も、国際的で活力ある社会の創造に向け、多面的かつ幅広く社会活動に寄与することを目的として、教育・文化、医療・福祉、経済・産業等の振興、発展を図るための研究及び事業への助成等を行うとの本財団の設立趣旨に則し、公益財団法人として、公益目的事業の充実を図るべく、事業計画に従い、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国からの外国人留学生に対する奨学金助成事業、がんの基礎研究並びに応用治療研究に対する助成、褒賞事業、並びにがんに関する講演会及び市民講座を実施した。また、物流人材育成を目的に、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、中華人民共和国からの研修生の受け入れ及びラオス人民民主共和国、ベトナム社会主義共和国での講義の提供を行った。

### I 事業の概要

#### 公益目的事業

##### 1 留学生奨学事業

###### (1) S G H 奨学生

日本の大学または大学院に在学する東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国の国籍を有する私費外国人留学生を対象とし、大学に募集要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の平成 31 年 4 月 17 日までに 99 大学から 112 名の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、奨学金の受給者を選出、理事会の決議を経て、次のとおり奨学支援を行った。

第 34 期奨学生：16 名（一人当たり月額 12 万円、支給期間 2 年間）  
年間支給額：2,304 万円（平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月）

氏 名	国籍 大学／学部・研究科（敬称略・順不同）
アデリン アン リー リン	シンガポール 北海道大学 現代日本学プログラム課程
グエン ティ ホア	ベトナム 下関市立大学 経済学部

グエン チェウ クエ ティエン	ベトナム 宮崎公立大学 人文学部
ミッチェル ナディア タノト	インドネシア 明治大学 国際日本学部
ソ チング マン	マレーシア 福山大学 人間文化学部
グエン アイン ガン ハ	ベトナム 環太平洋大学 経営学部
ロー ジュン セン	マレーシア 福井工業大学 環境情報学部
リチャード オンコ	インドネシア 大阪工業大学 工学部
ニコラス エコ サプトラ	インドネシア 大阪産業大学 工学部
フェリックス サリム	インドネシア 東京工業大学大学院 生命理工学院
ヌル イズヤナ ファラディラ ビンティ アズミ	マレーシア 埼玉大学大学院 理工学研究科
クレワッタナクル ナッチャノン	タイ 京都大学大学院 情報学研究科
グエン ティー トゥー フェン	ベトナム 富山大学大学院 人文科学研究科
ラーマ デウイ アマリア	インドネシア 愛知教育大学大学院 教育学研究科
レー クイン チー	ベトナム 奈良女子大学大学院 人間文化研究科
パラポン ワリサラ	タイ 拓殖大学大学院 言語教育研究科

第 33 期奨学生：16 名（一人当たり月額 12 万円、支給期間 2 年間）  
年間支給額：2,304 万円（平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月）

氏 名	国籍 大学／学部・研究科 （敬称略・順不同）
チャン ティ ラン ディエン	ベトナム 北海道大学 現代日本学プログラム課程
ティ ティ ウー	ミャンマー 東洋大学 国際地域学部

ルーン ティ タン ビン	ベトナム 福井工業大学 環境情報学部
ブイ ティ フォン ラン	ベトナム 名古屋経済大学 経営学部
リム シ オン	マレーシア 金沢大学 人間社会学域
レー ティ チン	ベトナム 秋田大学 理工学部
トラン ティ ホアン リン	ベトナム 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部
ルストレ アンジェラ イサベル カラニアン	フィリピン 武蔵野大学 グローバル学部
トン フォック ティン	ベトナム 豊橋技術科学大学 工学部
タン ウエイ キート	マレーシア 京都大学大学院 理学研究科
プリシラ ヨン メイ イエン	マレーシア 大阪市立大学大学院 理学研究科
チャーワチョープ ナッティヤー	タイ 東海大学大学院 工学研究科
ヘイン ボラネー	カンボジア 事業創造大学院大学 事業創造研究科
ラハユ エリンダ	インドネシア 東北大学大学院 文学研究科
ソン ダリン	カンボジア 東京農業大学大学院 農学研究科
リキー ステパヌス スイトウモラン	インドネシア 室蘭工業大学大学院 工学研究科

## (2) 奨学生交流活動

### ① 第34期SGH奨学生採用証書授与式

第34期SGH奨学生を対象とした授与式を次のとおり開催した。

日 時	令和元年 10 月 28 日（月）12:45～15:00
場 所	ホテル日航プリンセス京都
内 容	第34期SGH奨学生採用証書授与式

## ② 交流会

第34期SGH奨学生、第33期SGH奨学生及び卒業奨学生との留学生相互間の交流を深めることを目的として、次のとおり交流会を開催した。

日 時	令和元年10月26日（土）～27日（日）
場 所	京都府、滋賀県
内 容	佐川美術館見学 観光（嵐山） 体験（嵯峨野トロッコ列車、保津川下り、和紙照明手作り体験）

## ③ 同窓会（なごみ会）

奨学生及び卒業奨学生が互いの現況報告や情報交換をする交流の場を設けると共に、卒業奨学生と長期にわたり繋がりを維持していくことを目的として、同窓会（なごみ会）を次のとおり開催した。

### ・同窓会（なごみ会）

日 時	令和2年1月11日（土）17:00～19:00
場 所	東京ドームホテル
内 容	現況報告、情報交換等

### ・海外同窓会（なごみ会）

日 時	令和元年5月19日（日）17:00～19:00
場 所	ラオス FUJI 2号店
内 容	現況報告、情報交換等

日 時	令和元年7月13日（土）17:30～19:30
場 所	ベトナム ロッテホテルハノイ
内 容	現況報告、情報交換等

日 時	令和元年7月14日（日）17:00～19:00
場 所	ベトナム ロッテレジェンドホテルサイゴン
内 容	現況報告、情報交換等

## (3) 刊行物発刊

### ① 奨学生報告集「2019年度版 アジアの和」

第 34 期 S G H 奨学生の留学目的、学習または研究の方針及び感想文等と第 33 期 S G H 奨学生の私の夢について掲載、令和元年 10 月に 250 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

② 第 33 期 令和 2 年 3 月卒業奨学生 研究成果・感想文集

令和 2 年 3 月に卒業した第 33 期 S G H 奨学生 16 名の研究成果・感想文集を令和 2 年 2 月に 200 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

## 2 助成事業・褒賞事業

### (1) 第 31 回 S G H がん研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がんに関する基礎研究または臨床研究に携わる満 45 歳未満の日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和元年 6 月 30 日までに 83 機関から 179 件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事会の承認を経て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：15 件 金額：1,500 万円（1 件当たり 100 万円）

氏名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
新井 康之	京都大学医学部附属病院輸血細胞治療部助教 機械学習による画像定量化を用いた、悪性リンパ腫の予後予測法の確立	
伊東 潤二	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター老化機構研究部研究員 新規の乳癌の発癌・進行モデル系を用いた乳腺微小環境の癌制御機構の解明	
井上 大地	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター血液・腫瘍研究部上席研究員 SETBP1 変異を有する難治性白血病の病態解析と治療応用	
大口 裕人	熊本大学大学院先端機構生命資源研究・支援センター疾患エビゲノム制御分野（併任）准教授 ヒト骨髄腫遺伝子学的異常に基づく骨髄腫モデルマウスの確立	
大平 新吾	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター放射線腫瘍科主任 早期膵癌発見をめざした人工知能活用新規 CT イメージング技術の開発	

籠谷 勇紀	東京大学医学部附属病院無菌治療部講師 固形腫瘍に対するキメラ抗原受容体 T 細胞療法の治療効果改善を目指した T 細胞のシグナル伝達経路修飾
菊繁 吉謙	九州大学大学院医学研究院応用病態修復学講師 ヒトがん幹細胞に共通する幹細胞性維持機構としての代謝特性の解明
下田 将之	慶應義塾大学医学部病理学教室准教授 新規ヒアルロン酸代謝系に着目した腸炎関連発癌制御の機能解析と創薬の探索・開発研究
園下 将大	北海道大学遺伝子病制御研究所がん制御学分野教授 膵臓がん発生を促進する代謝経路とその調節機序の同定
高井 淳	京都大学大学院医学研究科地域医療システム学講座特定助教 全ゲノム解析による原発性肝癌の多段階発癌分子機序の解明
早河 翼	東京大学医学部附属病院消化器内科助教 粘膜増殖帯由来消化管癌の発生機序解析と標的治療
日野 信次朗	熊本大学発生医学研究所細胞医学分野准教授 急性骨髄性白血病における代謝プログラムの多様性の解明
廣野 誠子	和歌山県立医科大学外科学第 2 講座講師 Circulating cell-free tumor DNA 解析による膵癌術前化学療法の効果予測
牧野 知紀	大阪大学大学院医学系研究科外科学講座消化器外科学助教 消化器癌における変異 p53 遺伝子を標的とした化学療法耐性克服とそのメカニズム解明
丸山 剛	早稲田大学高等研究所丸山研究室主催 Stiffness 依存的に誘導される受容体 ECAR によるがん変異細胞の抗原提示認識機構

## (2) 第 1 回 S G H がん看護研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がん看護に携わる日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和元年 6 月 30 日までに 18 機関から 23 件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事会の承認を経て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：12件 金額：600万円（1件当たり50万円）

氏名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
青木 美和	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻特任助教 がんゲノム医療の看護実践における倫理的課題の実態調査	
今井 芳枝	徳島大学大学院医歯薬学研究部ストレス緩和ケア看護学分野准教授 がん治療に対するがん患者の納得に関する影響要因の検討	
木下 由美子	宮崎大学医学部看護学科成人・老年看護学領域教授 直腸がん患者のQOL向上を目指した中期的なQOL予測・影響要因の探索	
小林 明日香	東京大学大学院医学系研究科健康科学看護学専攻家族看護学分野博士後期課程 入院治療中の小児がんの子どもを持つ親における family-centered care と work-life balance との関連	
小松原 千暁	医療法人三慧会 IVF 大阪クリニック看護師長 がん・生殖医療における妊孕性温存に関する意思決定支援 (Shared decision making : SDM) のプロセス—オタワ個人意思決定ガイド (2015 版) に添った複線経路・等至性モデルによる分析—	
杉山 育子	東北大学病院看護部緩和ケアセンターがん専門看護師 がん遺伝子パネル検査を受ける患者の検査に対する認識や態度 (期待、不安、疑問、看護師に対する期待) を明らかにする	
鈴木 美穂	聖路加国際大学看護学研究科教授 高齢血液腫瘍患者の治療前高齢者機能評価と治療後の生活の支障の関連：診療録データを用いた分析	
近田 藍	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻臨床看護学講座生活習慣病看護学分野博士後期課程 悪性神経膠腫患者の End of Life Discussion に対する遺族の認識と意向：質的記述的研究	
中村 正子	愛知医科大学看護学部成人看護学講師／滋賀医科大学大学院臨床腫瘍学講座大学院生 難治性乳がん患者に関わる看護師への継続的な緩和ケア教育推進モデルの構築	
平田 美佳	聖路加国際大学大学院看護学研究科小児看護学専攻博士後期課程 がんの子どもと親の Hope が End of Life のなかで変容していくプロセスに関する質的研究～その子どもらしく、その家族らしく最期まで生きる力を支えるケアの探求～	
吉田 美香子	東北大学大学院医学系研究科ウィメンズヘルス・周産期看護学准教授 内分泌療法を受ける乳がん患者の Genitourinary syndrome of menopause マネジメント法の開発に向けたデータベースの構築	

渡邊 美和

東都大学幕張ヒューマンケア学部看護学科講師  
進行がん患者のアドバンスケアプランニングを促進する看護プログラムの開発

(3) 第17回SGH特別賞

がんの研究に顕著な功績を挙げ、かつ今後の発展が期待される研究者及び医療従事者の推薦を学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の令和元年6月30日までに11件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事会の承認を経て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2件 総額：1,000万円（1件当たり500万円）

栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「希望」

氏名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
小野 公二 氏	大阪医科大学関西 BNCT 共同医療センターセンター長・教授 原子炉中性子によるホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) 研究と加速器中性子システムによる高度化	
酒井 敏行 氏	京都府立医科大学創薬センターセンター長 京都府立医科大学大学院医学研究科創薬医学特任教授 ファースト・イン・クラスかつベスト・イン・クラスの新規 MEK 阻害剤 (商品名メキニスト) の発見	

(4) 第17回SGH看護特別賞

がんの看護、予防、医療に関する研究に顕著な業績を挙げ、将来も活動が継続され、その成果が期待される個人、または団体の推薦を学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の令和元年6月30日までに8件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事会の承認を経て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2件 総額：200万円（1件当たり100万円）

栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「悠」

氏名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
内布 敦子 氏	兵庫県立大学理事兼副学長 がん患者の症状マネジメントのための統合的アプローチモデル導入・普及ならびに市民への緩和医療普及・啓発活動の推進	

大西 和子 氏 鈴鹿医療科学大学看護学部学部長  
がん患者の症状マネジメントにおける看護技術としての補完療法の実用研究

(5) 授与式・授賞式の開催

第 31 回 S G H がん研究助成金受領者、第 1 回 S G H がん看護研究助成金受領者を対象とした授与式、第 17 回 S G H 特別賞授賞式、第 17 回 S G H 看護特別賞授賞式、並びに第 16 回 S G H 特別賞受賞者、第 16 回 S G H 看護特別賞受賞者による記念講演を次のとおり開催した。

日 時 令和元年 11 月 30 日 (土) 10:30～13:00

場 所 ホテルグランヴィア京都

内 容

第 31 回 S G H がん研究助成金授与式

第 1 回 S G H がん看護研究助成金授与式

第 17 回 S G H 特別賞・S G H 看護特別賞授賞式

第 16 回 S G H 特別賞受賞記念講演

工藤 正俊 氏

「肝細胞癌に対する新規治療法ならびに新規薬剤の開発」  
(近畿大学医学部消化器内科学主任教授)

西山 正彦 氏

「難治性がんトランスレーショナル・リサーチ：医療シーズの策定から臨床開発研究まで」  
(東札幌病院副理事長 広島大学名誉教授 群馬大学名誉教授)

第 16 回 S G H 看護特別賞受賞記念講演

石川 睦弓氏

「がん患者の悩みや負担の体系化からつなげる患者家族支援」  
(静岡県立静岡がんセンター研究所患者・家族支援研究部研究部長)

鈴木 志津枝 氏

「がん看護専門看護師の能力向上のための事例検討会の意義  
～がん患者の家族援助に向けて～」  
(神戸市看護大学学長兼教授)

(6) 研究成果報告集の刊行

第 30 回 S G H がん研究助成金受領者及び第 16 回 S G H 特別賞受賞者、第 16 回 S G H 看護特別賞受賞者より提出されたがんに関する研究成果報告と令和元年度の事業報告を掲載し、「2019 S G H がん研究報告 Vol.30」を令和 2 年 3 月に 1400 部発刊し、全国の大学、研究機関、病院等に配付した。

### 3 がんに関する市民講座の開催

第18回市民公開講座を次のとおり開催した。  
なお、採録記事を来年度読売新聞朝刊に掲載する。

#### 第18回市民公開講座

「がんゲノム医療についてー精密医療の到来？ー」

日 時 令和2年2月24日（月・振替休日）13:00～15:45  
場 所 グランフロント大阪北館 B2F  
ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター  
内 容 基調講演（30分）  
「がんゲノム医療とは？」  
武藤 学 氏  
（京都大学医学部腫瘍薬物治療学教授）

#### 講演（各20分）

「がんゲノム医療の世界的動向」  
池田 貞勝 氏  
（東京医科歯科大学医学部附属病院腫瘍センター准教授）

「がんゲノム医療における遺伝性腫瘍」  
小杉 眞司 氏  
（京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学教授）

「膀胱がん・希少がん患者の希望に繋がるゲノム医療」  
眞島 喜幸 氏  
（特定非営利活動法人パンキャンジャパン理事長）

#### パネルディスカッション（40分）

司会：武藤 学 氏

パネリスト：池田 貞勝 氏、小杉 眞司 氏、眞島 喜幸 氏

コーディネーター 武藤 学 氏

平岡 眞寛 氏（日本赤十字社和歌山医療センター院長）

司 会 植月 百枝 氏（フリーアナウンサー）

参加者数 550名

後 援 公益財団法人日本対がん協会

協 力 SGホールディングスグループ

### その他事業

#### 1 中古トラックの無償寄贈事業

本事業については、本年度は休止した。

## 2 人材育成支援事業

### (1) 日中友好物流人材育成支援研修

中華人民共和国四川省の西南交通大学で物流を専攻する学生 10 名を受け入れ、日本において下記のとおり研修を実施した。

日 時 令和元年 8 月 19 日（月）～8 月 23 日（金）  
場 所 東京都、千葉県、神奈川県  
内 容 第 3 期日中友好物流人材育成支援研修  
いすゞ自動車販売株式会社  
トヨタ L&F カスタマーズセンター東京  
佐川急便株式会社  
佐川グローバルロジスティクス株式会社

### (2) ラオス物流人材育成支援

ラオス人民民主共和国のラオス国立大学で物流を専攻する学生 48 名並びに公共事業運輸省、業界団体、民間物流事業の実務者 31 名に下記のとおり講義の提供を行った。平成 26 年度より、国土交通省と連携し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時 令和元年 5 月 16 日（木）～5 月 24 日（金）  
場 所 ラオス人民民主共和国 ヴィエンチャン  
内 容 第 3 回ラオス物流集中講義  
ラオス国立大学  
（5 月 20 日～5 月 24 日／物流を専攻する 4 年生 48 名）  
公共事業運輸省訓練センター  
（5 月 16 日～5 月 17 日／実務者 31 名）

### (3) ベトナム物流人材育成支援

ベトナム社会主義共和国のホーチミン交通大学で物流を専攻する学生 161 名に下記のとおり講義の提供を行った。平成 26 年度より、国土交通省と連携し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時 令和元年 7 月 15 日（月）～7 月 26 日（金）  
場 所 ベトナム社会主義共和国 ホーチミン  
内 容 第 5 回ベトナム物流集中講義  
ホーチミン交通大学  
佐川グローバルロジスティクス株式会社  
SG 佐川ベトナム・ディストリビューション・センター

## II 処務の概要

### 1 役員等に関する事項

#### (1) 役員に関する事項

理事 定数：5名以上7名以内 現在：6名 任期：2年

監事 定数：3名以内 現在：2名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
理事長	栗和田 榮一	SGホールディングス株式会社代表取締役会長 佐川急便株式会社社長
理事	大久保 潔	SGホールディングス株式会社シニアマネジャー
理事	小西 郁生	独立行政法人国立病院機構京都医療センター院長
理事	西堀 正司	公益社団法人日本中国友好協会専務理事
理事	平岡 眞寛	日本赤十字社和歌山医療センター院長
理事	古城 紀雄	大阪大学名誉教授
監事	奥村 和義	紫野税理士法人代表社員
監事	北村 善和	北村善和税理士事務所所長

#### (2) 評議員に関する事項

評議員 定数：5名以上7名以内 現在：6名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
評議員	上田 龍三	愛知医科大学腫瘍免疫寄附講座教授 名古屋市立大学名誉教授
評議員	佐野 友紀	SGホールディングス株式会社取締役
評議員	武藤 誠	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院理事・ 医学研究所所長 京都大学大学院医学研究科連携大学院教授
評議員	根本 好教	元財団法人社会安全研究財団専務理事
評議員	馬場 完造	馬場完造税理士事務所
評議員	松本 秀一	SGホールディングス株式会社取締役

(3) 顧問に関する事項

顧問 定数：なし 現在：11名 任期：2年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
顧問	垣添 忠生	公益財団法人日本対がん協会会長
顧問	川井 仁	株式会社三菱 UFJ 銀行執行役員 京都支店長
顧問	菊地 宏子	元一般財団法人佐川国際経済協力会事務長
顧問	葛野 正彦	いすゞ自動車販売株式会社取締役副社長
顧問	河野 伊一郎	倉敷芸術科学大学学長 独立行政法人国立高等専門学校機構顧問 岡山大学名誉教授（元学長）
顧問	佐谷 秀行	慶應義塾大学病院副院長 臨床研究推進センター長
顧問	高月 清	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院評議員 熊本大学名誉教授
顧問	橋本 逸男	公益社団法人日本中国友好協会副会長 日本ラオス協会会長
顧問	畠 清彦	国際医療福祉大学医学部教授 国際医療福祉大学三田病院副院長・悪性リンパ腫血液腫瘍センター長
顧問	三嶋 理晃	社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院院長
顧問	山岸 久一	京都府立医科大学名誉教授（元学長）

2 会議に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和元年5月13日 (みなし決議)	第34期SGH奨学生採用の件	承認
令和元年5月29日	平成30年度事業報告及び附属明細書の承認の件	承認
	平成30年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	顧問11名選任の件	承認

	選考委員の報酬等並びに費用に関する規程改定の件	承認
	定時評議員会開催の件	承認
	S Gホールディングス株式会社定時株主総会における議決権行使の件	承認
	職務執行の状況について	報告
令和元年6月17日 (みなし決議)	理事長選定の件	承認
	理事長に事故があるときの職務代行順位選定の件	承認
令和元年7月11日 (みなし決議)	S G H特別賞選考委員2名選任の件	承認
令和元年8月19日 (みなし決議)	第17回S G H特別賞受賞者決定の件	承認
	第17回S G H看護特別賞受賞者決定の件	承認
令和元年9月17日 (みなし決議)	第31回S G Hがん研究助成採択決定の件	承認
	第1回S G Hがん看護研究助成採択決定の件	承認
令和2年3月23日 (みなし決議)	令和2年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類承認の件	承認
	S G H奨学生選考委員1名選任の件	承認

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和元年6月17日	平成30年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	評議員6名選任の件	承認
	理事6名選任の件	承認
	監事2名選任の件	承認
	議事録署名人選任の件	承認
	平成30年度事業報告の件	報告

(3) 各種委員会

① 第 34 期 S G H 奨学生選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和元年 5 月 6 日	第 34 期 S G H 奨学生選考に関する件	対象者を選出

② 第 31 回 S G H がん研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和元年 9 月 9 日	第 31 回 S G H がん研究助成選考に関する件	対象者を選出

③ 第 1 回 S G H がん看護研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和元年 8 月 29 日	第 1 回 S G H がん看護研究助成選考に関する件	対象者を選出

④ 第 17 回 S G H 特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和元年 8 月 1 日	第 17 回 S G H 特別賞選考に関する件	対象者を選出

⑤ 第 17 回 S G H 看護特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和元年 7 月 29 日	第 17 回 S G H 看護特別賞選考に関する件	対象者を選出

3 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

(1) 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

理事の職務執行は、法令及び定款等に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は、理事会議事録に記載され、その記録の保存・管理は、適切に保存及び管理している。

- (2) 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

法令、定款及び社会規範等の厳守を目的としている。

#### 4 内閣府への提出等に関する事項

提出年月日	内容
平成31年4月8日	変更の届出
令和元年6月28日	事業報告等の提出
令和元年7月4日	変更の届出
令和2年3月24日	事業計画書等の提出

#### 5 寄附収入に関する事項

なし

## 附属明細書

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 2 年 5 月

公益財団法人 S G H 財団